

適切な意思決定に関わる指針

もりかわ在宅クリニックでは、人生の最終段階における医療・ケアの在り方について、ご本人とご家族が納得し、安心して意思決定できるよう、多職種チームが連携して支援します。

丁寧な情報提供

医師をはじめとする医療従事者が、現在の病状、医療やケアの選択肢、今後の見通しについて、わかりやすく丁寧にご説明いたします。

対話とチーム連携

ご本人やご家族が、医師・看護師・介護職など多職種で構成されたチームと、十分に話し合えるよう環境を整えています。

本人の意思を最優先に

私たちは、ご本人の意志を最も大切にしながら、家族やチームも納得できる形での意思決定を目指しています。

意思の変化にも柔軟に対応

時間の経過や病状の変化により、ご本人の意志が変わることもあります。そうした変化を尊重し、その都度適切な説明と支援を行い、ご本人が思いを伝えられるようサポートします。

記録と情報共有

話し合いの内容は適宜記録し、医療・ケアチーム内で共有することで、常に連携した支援体制を保ちます。

医学的妥当性を踏まえた慎重な判断

治療やケアの開始、中止、変更などの判断は、医学的な妥当性と適切性をもとに、チームで慎重に検討し、ご本人とご家族と話し合ったうえで決定します。

ご本人の意思が確認できないときは

ご本人の意志確認が難しい場合には、ご家族が推定できる意志を尊重します。推定が困難な場合には、ご家族と十分に話し合い、必要に応じて医療・ケアチームが代わって最善の方針を検討します。ご家族がいない場合や判断を委ねられた場合も、チーム内で協議し方針を定めます。

意見がまとまらない場合の対応

意見の不一致や合意に至らない場合には、ご本人またはご家族の同意のもと、医師会の臨床倫理委員会など外部の専門家に助言を求め、よりよい方針をともに考えていきます。

最終更新日：2025年3月31日

医療法人アンメディ もりかわ在宅クリニック

院長 森川慶一